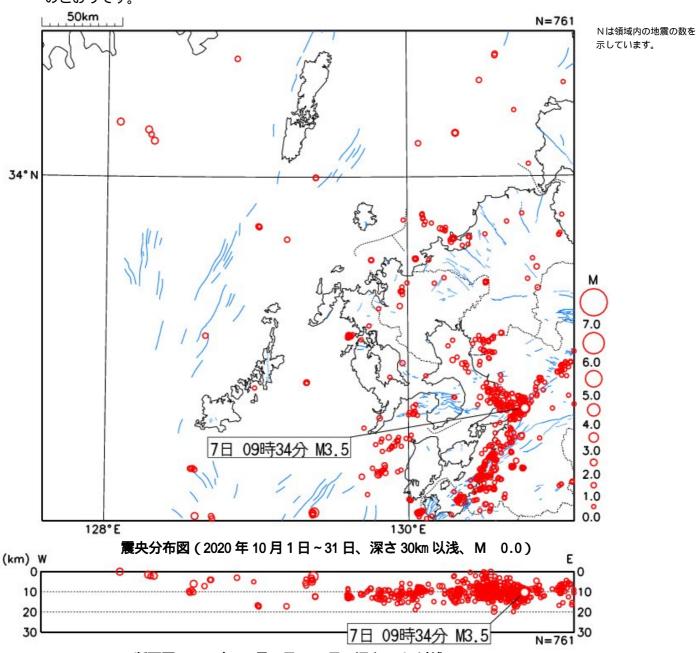
# 長崎県の地震活動概況(2020年10月)

令和2年11月10日 長崎地方気象台

#### 地震活動の概況 (2020年10月)

10月に長崎県内で震度1以上を観測した地震は1回でした(9月:1回) 詳細は次ページのとおりです。



断面図 (2020年10月1日~31日、深さ30km以浅、M 0.0) (震央分布図を南の方から見た断面図です)

本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す(活断層のデータは新編日本の活断層による)。 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高 知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、 公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成 しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

2020年4月18日から10月23日までの地震について、暫定的に震源精査の基準を変更していたため、その前後の期間と比較して 微小な地震での震源決定数の変化(増減)が見られることがあります。

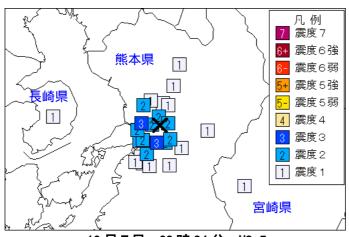
#### 熊本県熊本地方

7日09時34分に熊本県熊本地方で発生したM3.5の地震(深さ10km)により、熊本県で震度3を観測したほか、長崎県、熊本県および宮崎県で震度2~1を観測しました。長崎県では、雲仙市で震度1を観測しました(図1)。

今回の地震は、「平成28年(2016年)熊本地震」の活動域内で発生した地震です(図2、図3)。

「平成28年(2016年)熊本地震」に関しては、以下の気象庁ホームページを参照ください。 気象庁(熊本地震特設ページ)

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/2016\_04\_14\_kumamoto/index.html



10月7日 09時34分 M3.5 図1 震度分布図(観測点別、×:震央)

図3

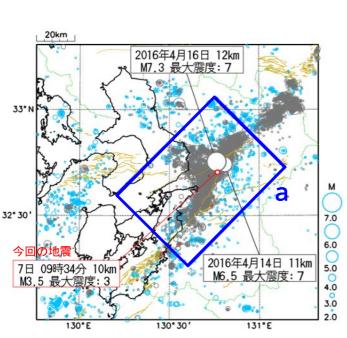


図2 震央分布図

(1997年10月1日~2020年10月31日 深さ0km~20km M 2.0)

2016年4月13日以前の地震を青色で、 2016年4月14日以降の地震を灰色で 2020年10月の地震を赤色で表示

2020年10万0000度を<mark>から</mark>となか 図中の<u>茶</u>線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

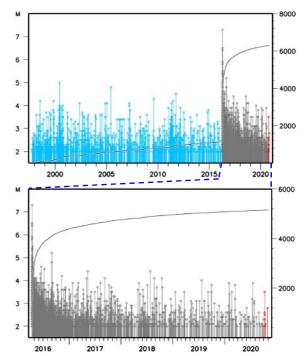


図 2 領域 a 内の地震活動経過図及び回数積算図

(上段: 1997年10月1日~2020年10月31日、 下段: 2016年4月14日~2020年10月31日)

## 長崎県内で震度1以上を観測した地震の表(10月1日~31日)

地震発生時刻 各地の震度	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2020 年 10 月 07 日 09 時 34 分 震度 1 : 雲仙市小浜町雲仙	熊本県熊本地方	32° 42.2' N	130° 46.0' E	10km	M3.5

注) 震源要素 (緯度・経度・深さ・M)は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

### マグニチュードと震度

マグニチュードは、地震そのものの大きさ(規模)、つまり地震のエネルギーを表します。一方、震度はある場所での地震による揺れの強さを表します。

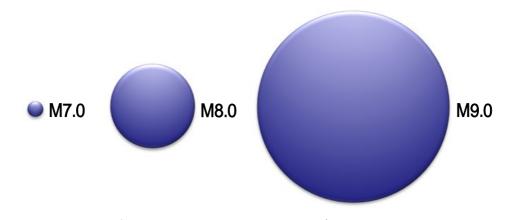
地震とは、地下の岩盤の破壊を伴う急激なずれです。この破壊の大きさを表す値がマグニチュード(地震の規模)で、これによって生じた地震波が地表に伝わって地面が揺れたとき、その場所の揺れの強さを表す値が震度です。したがって、マグニチュードは1つの地震について1つですが、震度は場所ごとに別々の値になります。

マグニチュードと震度の関係は、電球の明るさと周りの明るさとの関係によく似ています。 電球の明るさを表す値がマグニチュード、 電球から離れたある場所の明るさが 震度に相当します。 つまりマグニチュードが大きくても (電球が明るくても) 震源から遠いところでは震度は小さく (暗く)なります。



マグニチュードが 1 大きい地震では地震の持つエネルギーが約 32 倍になり、マグニチュードが 2 大きい地震では地震の持つエネルギーは 1000 倍になります。

2005年3月20日に発生した福岡県西方沖の地震はマグニチュード7.0(最大震度6弱), 2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震はマグニチュード9.0(最大震度7)でしたので、地震の持つエネルギーは1000倍違うということになります。



マグニチュードと地震のエネルギーの関係